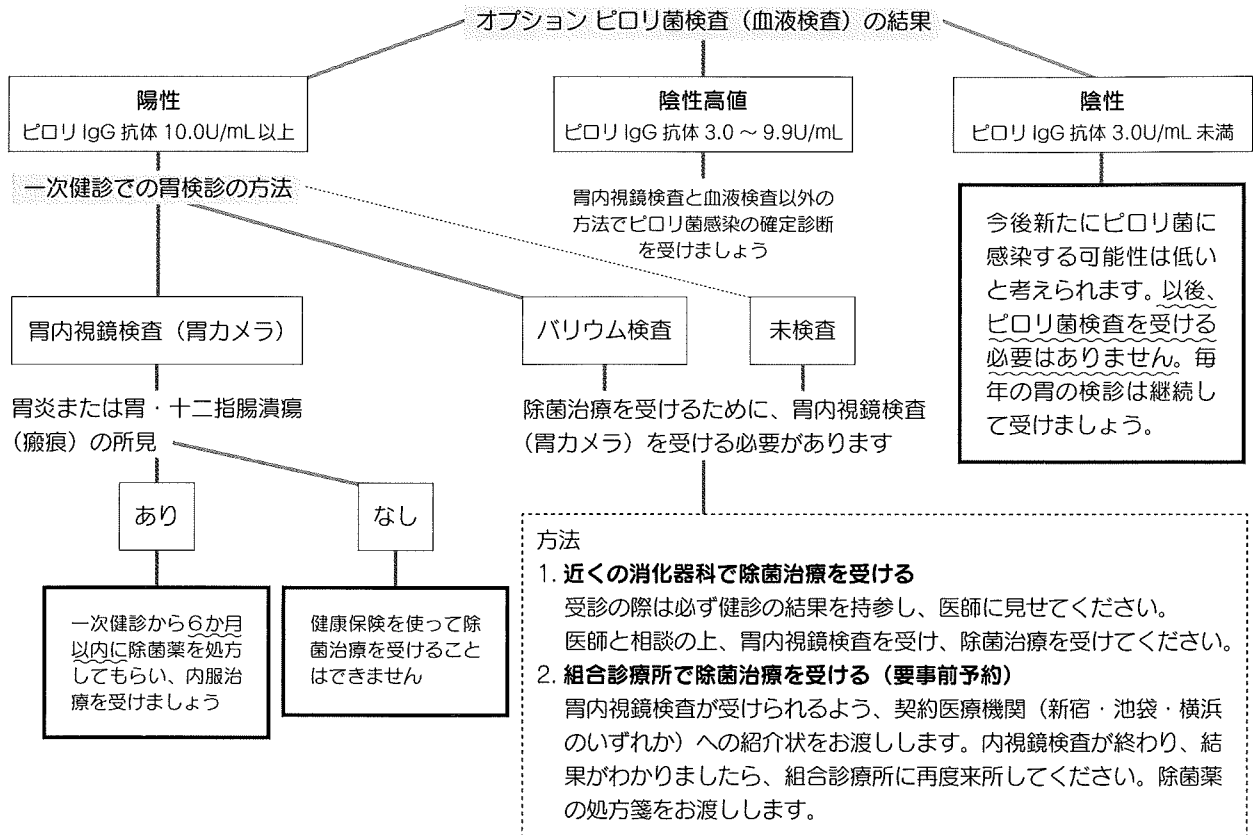


## ピロリ菌検査で陽性だった場合の除菌治療の流れ

※現状では健診機関によって「陰性高値」も「陰性」と判定される場合があります。



## 除菌治療を受けた後は

尿素呼気試験（呼気テスト）等で、除菌が成功したかどうかを確認する検査を行います。もし、除菌できなかった場合には二次除菌治療について医師と相談しましょう。なお、除菌治療については個人によって状況が異なりますので、ご自身が除菌治療の対象であるか不明な場合には、当組合保健科にお問合わせいただくか、お近くの消化器科でご相談ください。



保健師 本多 康則

参考・引用資料  
日本癌学会HP、『きょうの健康』2016年8月号、2017年5月号 他

## 禁煙コラム

### 第6回

## たばこを吸わない周りの人への影響

「換気扇や空気清浄機を使う・ペランダで吸うから大丈夫」は間違い  
●受動喫煙の害は煙が出ている時だけではない!!

家族や周囲の迷惑にならないように、換気扇の下でたばこを吸う方がいます。しかし、家庭の換気扇では、たばこの煙に含まれる多くの有害物質は取り除けません。また、ペランダに出てたばこを吸っても、室内にいる方に影響を及ぼします。例えば、吸い終えた直後4〜5回までの息にはたばこを吸っている時と同じくらいの有害物質が含まれ、それは30分くらい続くとされています。その状態で室内に入ることにより、たばこの有害物質が室内に持ち込まれることとなります。

さらに、たばこの煙は喫煙者の髪の毛や衣服にしみ込みます。このように喫煙者が身につけている物などから発せられるたばこに含まれる有害物質を吸うことを、「サードハンドスモッキング」（三次喫煙）といいます。壁や床、カーテンなどからも有害物質が検出されており、集中力、体調にも影響があることが報告されており、受動喫煙は防げません。

平均3〜4回の挑戦で禁煙に成功する！  
失敗は成功の元！ 今日から、禁煙にチャレンジしてみませんか？